

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源

Agresh

2020. VOLUME.124

7

あぐれっしゅ



10周年 感謝を忘れず、この先も共に

特集

新組合長に畠山氏

10期連続黒字決算

〈第10回通常総代会〉

味も抜群です!!



「みんなのよい食プロジェクト」とは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、消費者のみなさんと一緒に考えて、行動していく運動です。



腕じまん

地域じまんのモノ語り

「きりたんぼ」づくり通じ
地域、仲間と絆

～小川さん(十和田湖)に栄冠
県JA女性組織協議会組織活動コンクール～



JA女性部十和田湖支部の小川真利子さんが6月10日、青森市のJA会館で行った県JA女性大会の組織活動体験発表コンクールで最上位の優秀賞に輝きました。「女性部仲間とワンチーム」をテーマに発表。米消費拡大運動として始めた「きりたんぼ」づくりを通じて、地域とJAとの関わりや仲間との絆など、楽しみながら活動した内容が今後の発展性も感じられるとして高い評価を受けました。

同コンクールには県内3JAから3人の女性部員が出場しました。小川さんたちは、自分たちのエプロンやポロシャツなどのユニフォームの製作や食育ソムリエの資格を積極的に取得するなど、楽しみながら活動。小川さんは「いつも仲間が支えになった。今後もイベント等に参加し、私たちの活動をアピールしていきたい」と話しました。

小川さんは東北北海道地区の組織活動体験発表に県代表として臨みます。



▲JA収穫祭で「きりたんぼ」を販売する女性部十和田湖支部のメンバー



総務部/教育人事課 令和3年度採用 職員の募集について

採用人員.....(1)一般職員 (2)営農指導員 (3)畜産指導員 20人程度
応募資格.....(1)高等学校・短期大学・専門学校・4年大学を卒業した人(令和3年3月卒業見込者を含む)
(2)自動車運転免許取得した人、又は採用後6カ月以内に取得する見込みの人 一 ほか
試験日・試験場所...採用試験は筆記試験・面接試験を実施します。

一次試験(筆記試験)			二次試験(面接試験)	
試験予定日	場所	願書受付	試験予定日	場所
令和2年 9月25日(金)	当組合 本店 (十和田市)	令和2年 9月 1日(火)～ 9月11日(金)	令和2年10月14日(水)	当組合 本店
令和2年10月26日(月)	青森県農協会館(青森市)	令和2年10月 5日(月)～10月12日(月)	令和2年11月11日(水)	当組合 本店

その他.....・高等学校新卒者(令和3年3月卒業見込者)は10月実施の試験が対象となります。
・採用状況によって、上記以外に追加募集を行う場合があります。
応募資格、待遇等はJA十和田おいらせのホームページの職員募集でご確認ください。

お問い合わせ先...本店総務部教育人事課まで TEL.0176-23-0311 <http://www.jatowada-o.or.jp/>

公式Facebook
JA十和田おいらせ

次回外務予定日 令和2年8/13(木)～17(月)

令和2年7月13日発行 ■発行/十和田おいらせ農業協同組合 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1820
■編集/JA十和田おいらせ 広報編集委員会 ■公式ホームページ <http://www.jatowada-o.or.jp> ■E-mail/soumu@jatowada-o.or.jp ■印刷/アート印刷

けいしょうびと

継承 × 人

下田支店管内

かみくぼ だいぞう
上久保 大造さん(23)

祖父を目標に畑守る

祖父母の農業を継承し、一年間の農業研修を経て、今年から本格就農した大造さん。自分が作付けし初めてダイコンの収穫を迎え、農家として新たな一歩を踏み出した。実際に自分でやってみて作物を育てる難しさを痛感。祖父母の栽培技術を継承しながら、新たな技術を加えたいと話し、「自分の農業スタイルをつくり、質の高い生産につなげたい」と意欲を燃やす。

自分の腕で稼ぎたい

会社勤めをしていたころは、フォークリフト等、農業に関係する機械の整備が仕事だった。若手の農家と接する機会も多く、頑張っている姿を見ているうちに「ちゃんとやれば儲かる。農家っていいな。自分の腕で稼ぎたい」という思いが強くなった。

幼いころから祖父母の農業を手伝っていたこともあり、それまでは「農業=きつい」のイメージが強く、自分の仕事にするとは思わなかったと振り返る。



▲JA職員と掘り取りの打ち合わせ



6月19日撮影

若い人を農業に

国の新規就農事業を活用し、ももいし支店管内の野菜農家、吉田良紀さんの畑で一年間研修した。同じおいらせ町で、作付けする野菜や作業形態、気候も似ている。「自分の畑のやり方しか知らなかったため勉強になった。今も親子で畑にきてアドバイスをしてくれて心強い」と感謝する。

一年間の研修で自信をつけたつもりだったが、実際に経営者の立場になると勝手が違う。作業する場面で迷いがでてしまうこともあるという。

大造さんは「たくさんの経験を積み、自分の理想とする農業を築きたい。儲かる農業につなげ、若い人たちをもっと農業に引き込みたい」と、夢を話す。

プロフィール…かみくぼ だいぞう
おいらせ町浜道

組合員=本人
家族構成: 祖父母
農業経営: ダイコン2.2畝、ナガイモ1.3畝
ゴボウ1.0畝

仕事のモチベーションアップに向け現在、彼女募集中だそう。

金融部

「夏の貯めトクキャンペーン」 始まります!

期間:令和2年8月31日(月)まで
スーパー定期貯金(1年もの)
10万円以上の新規・増額のお預入れ



最大 年0.05%上乗せ!

- ①組合員(同時加入含む)または組合員家族 0.03%上乗せ
- ②総合口座預け入れ 0.02%上乗せ

※①②適用で 最大年0.05%上乗せとなります
※お手続きの際は通帳印鑑と運転免許証等をお持ちください
※詳しくは、JA窓口へお尋ねください。

共済部

新しく誕生しました! 身近な生活習慣病のリスクに備える保障

特定重度疾病共済



1. がん、心・血管疾患、脳血管疾患、その他の生活習慣病(糖尿病・慢性すい炎・肝硬変・慢性じん不全)まで幅広く保障します。
2. 4つの疾病区分ごとに、共済期間を通じてそれぞれ1回、最大で4回共済金をお支払いします。
3. 継続的な治療による様々な経済的負担に備えられるよう、まとまった一時金で受け取れます。



新人L.A(ライフアドバイザー)の共済推進課・ニッ森拓也(23)です。保障内容について、ご不明な点がございましたら、いつでもお尋ねください。「ひと・いえ・くるま」の保障についても相談に応じます!

TEL.0176-23-0317

◇保障内容等のお問い合わせは、本支店でも応じます。最寄りのJAへお尋ねください。

金融部

ローン相談会(本支店のご案内)



毎月第3日曜日 9:00~16:00

7月19日 相談会場
本店、ももいし・下田
七戸・むつの5店舗

8月16日 相談会場
本店、ももいし・下田
上北・むつの5店舗

あぐれっしゅ vol.124 7
(文月・ふみづき)

特集 4~7p
第10回通常総代会

告知板 2p

継承人 3p

NEWS&TOPIC 地域の話 8p

あぐれっしゅ情報① 12p

ふれあい広場
頭の体操 パズル? 13p

information 14p

腕じまん
地域じまんのモノ語り 16p
県JA女性組織協議会組織活動コンクール

JAの概況 令和2年7月1日現在
正組合員数/6,398人
准組合員数/5,166人
役員数/26人
職員数(准職・嘱託含)/279人
貯金高/797億1,259万円
貸出高/176億9,063万円

24時間365日受付中 JAネットローン

農業機械・農業に関わる
設備資金等の相談も承ります。

各種ローンを取り扱いしております。会社員の方、自営業の方、JAとのお取引がない方もお気軽にご相談ください。各種ローンがネットで仮申込みできます。申込み方法は「JAネットローン」で検索!!



理事
なかむら さだゆき
中村 貞幸
むつ支店区域
経済委員

理事
たしま わたる
田嶋 恒
上北支店区域
経済委員・債権管理委員

理事
こばやし みつひろ
小林 光浩
十和田湖支店区域
経済委員

理事
まつばやし かずや
松林 一弥
下田支店区域
総務委員・債権管理委員

理事
うるしざか まさゆき
漆坂 政行
十和田湖支店区域
総務委員・債権管理委員



理事
ひさの れいこ
久野 礼子
十和田区域
女性枠・総務副委員長



理事
くどう えつこ
工藤 悦子
十和田湖支店区域
女性枠・経済委員



理事
かわかみ よしき
川上 吉喜
十和田区域
経済委員



理事
おがさわら あきひこ
小笠原 秋彦
十和田区域
経済委員・債権管理委員



理事
かわばた いしお
川端 石雄
むつ支店区域
総務委員・債権管理副委員長



監事
よしだ とおる
吉田 透
員外監事



監事
こせき つねひろ
小関 恒大
横浜町支店・むつ支店区域



監事
たけうち まさのり
竹内 正則
上北支店・十和田湖支店
七戸支店区域



常勤監事
くりやま じゅんいち
栗山 純一
十和田区域



代表監事
たなか とみえ
田中 富栄
ももし支店・下田支店区域

監事

合併10年を振り返って

組合長退任に当たり、一言ご挨拶申し上げます。平成23年6月に組合長に就任して以来、3期9年間に亘り大過なく職責を果たすことが出来ました。多くの組合員、地域の方々、役員および関係機関の皆様のご指導・ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。顧みますと、就任した平成23年は3月に東日本大震災が発生、全中がTPP反対運動に取り組んだ年でもありました。職員や常勤の経験もなく、日々の仕事について行くのが私にとって激務でした。ただ農家の苦労は分かっていたので、所得を増やして暮らしを良くしたいとの思いで、担い手パワーアップ・アクションの展開、中央市場への職員派遣、産地拡大対策事業、担い手育成塾の開講等、新規に取り組みしました。加えて行政等の支援を受けながら上北ライスセンター、大型米低温倉庫、野菜選果場等多くの施設整備を図ることが出来ました。



前組合長
たけがはら こうみつ
竹ヶ原 幸光

また、組合員の負託に応え、より良いサービスを継続するために、内部留保の増額や不稼働資産の解体、不良債権の回収等、経営基盤の強化に努めました。9年間の中で印象的だったことは、平成26年度産米が7,000円台に下落、令和元年には野菜価格、本年は和牛枝肉価格が20〜30%下落したことに対し、農家・組合員の再生産意欲向上のため独自の対策を実施いたしました。一方、平成28年度は野菜販売額99億円、米・畜産を加えた総販売額が198億円を達成、お祝いとして開催された千昌夫ショーは2,000名の方々から楽しんで頂き、組合員・地域の方々と共に喜んだ出来事でした。地域農業は依然として、高齢化、担い手不足、獣医師の不足等、多くの課題が山積しています。これからも農家が困ったとき、「農協が何とかするから大丈夫」と言える農協であり続けるよう、JA十和田おいらせグループ一丸となつて取り組むことを熱望するとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。任の挨拶いたします。

特集 第10回通常総代会 新組合長に畠山一男氏 ~新執行体制決まる~

当JAは6月26日、本店で第10回通常総代会と臨時理事会を開き、任期満了に伴う役員改選が行われました。退任する竹ヶ原幸光組合長(71)の後任に、元参事で子会社(株)協同サービス常務取締役の畠山一男氏(64)を選びました。ここでは、新しい執行体制と役員顔ぶれを紹介します。

次代を見据え改革推進

就任挨拶
総代会終了後の理事会において、代表理事組合長に選定されましたことは、組合皆様からの大きな責任を任されたものと、事の重大性を痛感しております。当JAは昨年度、組合員はじめ地域の皆様並びに関係機関各位のご支援・ご協力により、合併10周年の節目を迎えることが出来ました。地域農業を取り巻く環境は依然として、高齢化の加速、担い手・労働力の不足、耕作放棄地の拡大等ますます厳しさを増しています。このような状況下で、課題に対し真正面に向き合い、若手農家の育成と支援、作付面積拡大分の種苗費助成や高品質生産に向けた土壌診断料の助成等、これまでの自己改革を継続していきます。

また、第四次地域農業振興計画、中期経営計画のスタートの年として、「10年後のあるべき地域農業の姿」の実現に向け、固定観念にとらわれず、常に改革意識を持ち、「所得増大への支援力の発揮」「地域活性化への貢献力の発揮」これらを実践継続するための組織・経営基盤の強化、情報発信力の強化を着実に実践してまいります。

JA十和田おいらせ管内には、自慢できる農畜産物がたくさんあります。そして農業・地域を愛する農家もたくさんおります。高い志をもって地域農業発展に邁進してこられた先人・先輩方が残した「食」と「農」、そしてこのかけがえのない素晴らしい自然を次代へ繋ぎ、安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、役員一丸となり尽力してまいります。

組合員はじめ皆様の一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。役員を代表して就任のあいさついたします。



代表理事組合長
はたけやま かずお
畠山 一男
十和田区域

役員任期 2023年(令和5年総代会終了まで)



理事
たか まさみつ
田高 正光
十和田区域
総務委員長

理事
たけうち じゅんいち
竹内 淳一
上北支店区域
総務委員

非常勤理事
常務理事
(信用事業担当専任)
たかや くにお
高谷 邦
学識経験理事枠

常務理事
(管農経済担当)
こむかい ゆたか
小向 豊
ももし支店区域

常勤理事
代表理事専務
とざわ やすひろ
斗澤 康広
十和田区域

理事
くどう あきら
工藤 章
七戸支店区域
総務委員・債権管理委員長

理事
すぎやま こうしん
杉山 幸進
横浜町支店区域
経済委員長・債権管理委員

理事
きたむき のりお
北向 憲雄
ももし支店区域
経済副委員長・債権管理委員

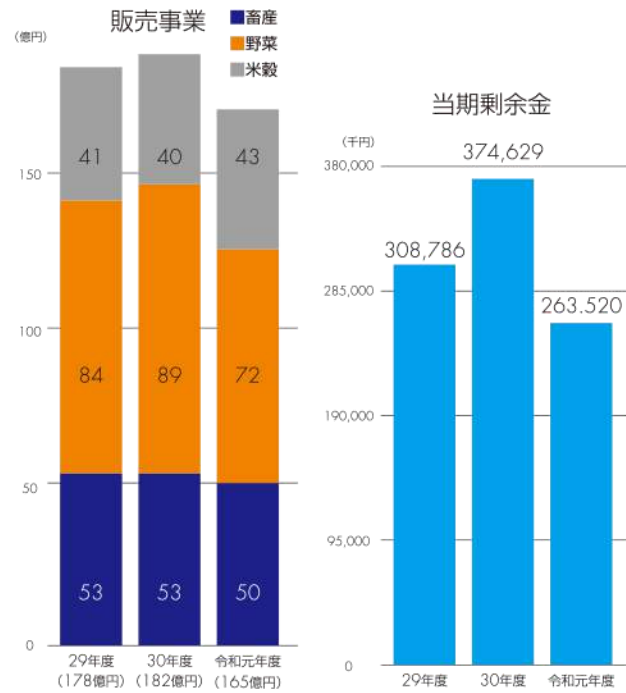
理事
にわ かつちよ
仁和 勝千代
十和田区域
総務委員・債権管理委員

理事
なかのわたり かずたか
中野渡 和隆
十和田区域
経済委員



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」
「地域の活性化」に向けた
令和2年度JA自己改革の実施計画

1. 担い手パワーアップ・アクションの展開
2. 産地拡大対策事業の継続実施
3. 販売力の強化
4. スマート農業への助成
5. JA受託作業の充実
6. 購買事業におけるランク奨励の実施
7. 「農業」や「食」を通じて、地域住民との協同活動の実施
8. 担い手育成塾の開講
9. ペーパーレス会議の開催



主要事業実績<前年度対比/計画対比> (単位:千円)

項目	金額	前年度対比(%)	計画対比(%)
信用事業			
貯金残高	78,591,106	98	98
貸出金残高	17,428,561	102	100
共済事業			
長期保有高	322,239,156	97	104
短期掛金	1,026,935	101	111
購買事業			
生産資材・生活資材	4,950,083	95	94
販売事業			
米 穀	4,365,100	107	105
野菜・花き	7,190,855	81	78
畜 産	4,974,163	94	108
計	16,530,118	91	92

特集

第10回通常総代会
10期連続の黒字決算

当期剰余金2億6千4百万円を計上



令和元年度決算は、当初計画を約8千万円上回る剰余金2億6,352万円を計上し、10期連続の黒字決算を報告しました。販売事業の販売高は169億円(買取販売含)で、野菜販売が71億9,085万円と、当初計画より20億円以上も落ち込んだ一方、米は43億6,510万円、畜産が49億7,416万円と計画を達成しました。

あいさつで、竹ヶ原幸光組合長は「野菜価格の低迷を受け、再生産意欲の向上を図るため総額5億6千万円の支援対策を講じた。組合員が安心して農業経営ができる環境づくりを支援するため、今年度は第四次地域農業振興計画と中期経営計画を策定した。10年後のあるべき姿を見直し、活力ある地域農業の実現をめざして役職員一体となって事業に取り組む」と述べました。

議事では議長に大深内支店管内の立崎享一総代を選任。令和元年度事業報告や令和2年度事業計画など全9議案が原案通り承認されました。令和2年度は、秋にファーマーズ・マーケット「かだあ〜れ」が十和田市内に完成予定。地域活性や農家所得の増大を図るとともに、労力軽減に向けたスマート農業の導入には助成していく計画です。

令和元年度 剰余金処分 (単位:円)

1. 当期末処分剰余金	385,774,037
2. 剰余金処分額	256,835,917
①利益準備金	53,000,000
②任意積立金	150,000,000
施設整備積立金	150,000,000
③出資配当金(出資額に対し1.0%)	53,835,917
3. 次期繰越剰余金	128,938,120

総代定数531人

出席総代数510人(本人:104人、書面:406人)

第10回(令和元年度)提出議案

- 議案第1号 令和元年度剰余金処分案及び事業報告の承認について
- 議案第2号 令和2年度事業計画の設定について
- 議案第3号 令和2年度における理事及び監事の報酬について
- 議案第4号 固定資産の取得について

- 議案第5号 定款の一部変更について
- 議案第6号 定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 議案第7号 信用事業規程の一部変更について
- 議案第8号 第四次地域農業振興計画及び、第四次中期経営計画の設定について
- 議案第9号 役員の選任について

子会社

(株)エコー (単位:円)		(株)協同サービス (単位:円)	
科目	金額	科目	金額
1. 当期末処分利益	94,656,842	1. 当期末処分利益	42,787,221
2. 利益処分額	72,000,000	2. 利益処分額	27,000,000
1) 出資配当金	2,000,000	1) 出資配当金	2,000,000
2) 特別積立金	70,000,000	2) 特別積立金	25,000,000
3. 次期繰越利益	22,656,842	3. 次期繰越利益	15,787,221

電話・メール等での質問受付、総代会に出た
主な質疑応答

産直関係

Q1 現在の参加希望者数は、12月の出荷説明会には162人、6月は117人の参加がありました。参加者数は初年度300人、最終的に1000人超の出荷会員を目標とし、多くの人の農業所得の増大につなげていきたいと考えています。

Q2 コンサルタントの試算により年間6億円の売り上げが期待できるとしていますが、それに達しなかった場合の補償はあるのか。また理事は責任を負うのか。

A2 立地条件から商圏調査による事業収支予測等をコンサルタントに依頼し、試算したもので売上高の補償をするものではありません。売上金額は全国のファーマーズ・マーケットのコンサルティング実績に居住世帯数と到達時間網から算出した年間利用客数を乗じて算出したものです。

Q3 担当者やスタッフの研修の進捗状況は、どうなっているのか。

A3 都内、千葉県、福島県のJA直売所に担当職員を派遣し、2週間研修を行いました。一般スタッフはレジ等の機器や備品を搬入後、実地研修を行う予定です。専門的な部門は、ほかの施設で研修させるなど計画しています。

総務関係

Q1 総代会資料の事業計画と、中期経営計画の内容に整合性がないのではないかと。中期経営計画書は3年間の事業方針を示しており、それに基づいた当該年度の取り組み内容を生産部会等と協議検討し、事業別に単年度計画として示しております。

米関係

Q1 取り組み事項に「関係機関との情報共有、農家への的確な情報提供によって農家が見通しを持って生産に取り組めるよう誘導を図っていきます」とありますが、具体的にどのような取り組みをしているのか。また、販売状況等の情報を求めているのか。

A1 各地域協議会の制度を比較した手取り額の情報を提供し作付け誘導を図って行きます。また、販売状況については、今後は的確に発信していきます。

その他

Q1 総代会資料に代表理事専務に名前記載がないのはなぜか。今後も専務の職を選定しないのか。

A1 自己都合により、3月30日に退任届が提出されたためです。今まで通り専務職を選任していきます。